

平成30年度
事業報告書

平成30年4月 1日から
平成31年3月31日まで

一般財団法人 全国市町村振興協会

目 次

1	会 議 の 開 催	1
2	貸 付 事 業	3
3	助 成 事 業	5
4	災 害 対 策 関 連 事 業	11
5	市 町 村 振 興 宝 く じ 販 売 促 進 事 業	16
6	研 修 会 の 開 催 ・ 会 報 の 発 行 等	16
7	市 町 村 振 興 基 金 の 管 理	17

区 分	年 月 日	場 所	議 題
第 3 回	平成 31. 3. 12	全国市町村振興協会	1 平成31年度事業計画の承認 2 平成31年度収支予算の承認 3 事務局長の選任の承認 杉原 弘敏 事務局長(4月1日付就任) 4 理事長及び業務執行理事の職務執行状況の報告
第 4 回	31. 3. 29	みなし決議	評議員会の開催(理事の補欠選任)

(3) 助成金審議委員会の開催

助成事業について審議するため、次のとおり助成金審議委員会を開催した。

年 月 日	場 所	審 議 事 項
平成 31. 1. 31	全国市町村振興協会	1 平成31年度市町村振興事業助成 2 平成29年度助成事業評価

(4) 都道府縣市町村振興協会事務局長会議の開催

地方協会との連絡調整及び本協会の業務運営について報告するため、次のとおり都道府縣市町村振興協会事務局長会議を開催した。

年 月 日	場 所	報 告 事 項 等
平成 30. 7. 4	全国都市会館	1 平成29年度事業報告 2 平成29年度決算報告 3 「公益目的支出計画」実施報告書 4 評議員及び役員等の人事 5 都道府縣市町村振興協会職員永年勤続表彰 なお、本会議に引き続き、長谷川 淳二 総務省自治財政局地方債課長から「宝くじの現状と課題について」と題して講演が行われた。
31. 3. 19	全国都市会館	1 平成31年度事業計画 2 平成31年度収支予算 3 事務局長の選任 4 全国市町村研修財団の平成31年度事業計画 なお、本会議に引き続き、安田 充 総務事務次官から「地方行財政の課題」と題して講演が行われた。

(5) 地区幹事会議の開催

次のとおり地区幹事会議を開催した。

区 分	年 月 日	場 所	報 告・協 議 事 項
第 1 回	平成 30. 11. 21	大 分 市	1 全国市町村振興協会の報告事項 2 各ブロック提出協議事項
第 2 回	31. 3. 5	全国市町村振興協会	1 平成31年度事業計画 2 平成31年度収支予算

(6) 地区事務局長会議への出席

地区ごとの情報交換、連絡協議等のため開催された下記の地区事務局長会議に本協会も参加し、当面の諸問題及び業務運営状況について報告するとともに意見交換を行った。

年 月 日	地 区 名	場 所
平成		
30. 9. 27	東北・北海道	小樽市
30. 10. 3	中 国	広島市
30. 10. 30	四 国	高松市
30. 11. 1	東海・北信越	松本市
30. 11. 8	関 東	渋川市
30. 11. 8	近 畿	大阪市
30. 11. 8	九 州	宮崎 市

(7) その他

本協会の運営に関する諸問題について、全国市長会、全国市議会議長会、全国町村会及び全国町村議会議長会と意見交換を行うための「地方四団体連絡会議」を、平成30年6月8日及び平成31年2月28日の2回開催した。

また、サマージャンボ宝くじ等及びハロウィンジャンボ宝くじ等の発売、広報宣伝等について、全国自治宝くじ事務協議会、宝くじ受託銀行等との連絡・調整を行った。

2 貸付事業

(1) 貸付計画額

- ① 短期貸付 10億円
- ② 長期貸付 50億円

(2) 貸付実績

- ① 短期貸付
平成30年度は、地方協会からの要望がなかったため貸付は実行しなかった。
- ② 長期貸付
平成30年度は、第1表のとおり10地方協会へ48億84百万円の貸付を実行した。

【平成30年度貸付利率】

平成30年4月貸付	借入期間	5年・10年・12年	:	0.01%
平成30年5月貸付	借入期間	10年・12年	:	0.01%
	借入期間	15年	:	0.1%
平成31年3月貸付	借入期間	5年・10年・12年	:	0.01%
	借入期間	15年	:	0.04%

第1表 平成30年度長期貸付実績

(単位：百万円)

地方協会名	貸付市町村数	主な貸付事業名	貸付額
千葉県市町村振興協会	4	指揮支援車及び災害対応特殊救急自動車整備事業 災害対応特殊はしご付消防ポンプ自動車整備事業 高規格救急自動車整備事業	218.1
福井県市町振興協会	2	梯子車整備事業 市民文化センター改修事業	300.0
山梨県市町村振興協会	2	駅周辺整備事業 小学校大規模改修事業 市立保育園改修事業	200.0
和歌山県市町村振興協会	5	本庁舎空調設備整備事業 公民館空調設備等整備事業 市道等改良事業	386.8
岡山市町村振興協会	1	ごみ処理施設整備事業	250.0
山口県市町村振興協会	3	体育館建設事業 公立大学校舎建設事業 公民館整備事業	933.4
香川県市町村振興協会	2	危機管理センター等整備事業 消防施設整備事業	903.1
愛媛県市町振興協会	2	市民スポーツ交流施設整備事業 市道改良事業 駐車場整備事業	592.2
佐賀県市町村振興協会	11	大学誘致及び施設整備促進補助金事業 社会体育館改修事業 高機能消防指令センター整備事業	900.0
宮崎県市町村振興協会	1	駅周辺整備事業	200.0
合計	10協会	33	4,883.6

(3) 長期貸付残高

平成30年度においては、48億84百万円の長期貸付を行い、62億28百万円の償還があったため、平成30年度末における長期貸付残高は、25地方協会延べで145件、483億40百万円となった。

なお、年度別内訳は第2表のとおりである。

第2表 年度別長期貸付額及び貸付残高表

(単位：百万円)

年 度	当 初 貸 付 額		平成29年度末残高		平成30年度償還額		平成30年度末残高	
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
昭和54 ～ 平成14	585	206,342.9	0	0	0	0	0	0
15	17	5,789.5	5	116.6	5	116.6	0	0
16	17	5,300.0	8	336.5	(8)	211.5	6	125.0
17	14	5,301.6	7	354.0	(7)	121.6	7	232.4
18	13	4,439.4	12	706.8	(12)	336.0	5	370.8
19	11	5,915.4	11	1,494.6	(11)	453.6	10	1,041.0
20	12	9,183.4	12	3,142.4	(12)	771.9	12	2,370.5
21	14	8,145.4	14	3,914.6	(14)	731.7	14	3,182.9
22	13	7,101.3	13	3,865.1	(13)	655.5	13	3,209.6
23	10	8,933.6	10	5,851.0	(10)	799.9	10	5,051.1
24	8	3,772.8	8	2,750.6	(8)	345.6	8	2,405.0
25	10	5,560.0	10	4,607.9	(10)	496.8	10	4,111.1
26	11	8,281.1	11	7,810.0	(11)	745.1	11	7,064.9
27	11	6,233.8	11	6,067.9	(9)	315.3	11	5,752.6
28	8	4,762.2	8	4,762.2	(5)	126.6	8	4,635.6
29	10	3,903.6	10	3,903.6	(—)	—	10	3,903.6
30	10	4,883.6	—	—	(—)	—	10	4,883.6
合 計	774	303,849.6	150	49,683.8	(135)	6,227.7	145	48,339.7

3 助成事業

平成30年度は、第3表のとおり市町村の振興に資する事業のうち全国的な視野に立って行われたものに対し、28億39百万円の助成を行った。

第3表 平成30年度市町村振興事業助成実績

(単位：百万円)

区分	事業名	事業概要	助成金額	団体名
国際化推進事業	自治体国際化事業	自治体の国際交流の推進、海外からの研修生受け入れや海外への派遣等自治体の国際間の人的交流の促進、多文化共生の観点に立った地域国際化推進のための活動の支援、地域の国際化に関する海外情報の収集・提供等を行い、国際化に対応した地域振興、人材の養成を図る事業。一般市町村分負担金に相当する額を一括助成。	259	自治体国際化協会
	小 計 (1事業・1団体)		259	—
少子・高齢化対策事業	若者ライフデザインに関する調査研究事業	民間会社と提携し、若者世代に生涯生活設計の描き方の習得機会を提供し、結婚や家庭生活の実現を応援する「若者ライフデザインセミナー」を実施するとともに、地元定着率の向上等の方策について調査研究し、全国の市町村のモデルとなる人口増に繋げる施策を検討する事業。	17	地域社会ライフプラン協会
	ライフプラン普及・啓発のための視聴覚教材作成事業	急激に変化した社会情勢に対応するため、地域住民に対するライフプラン策定を支援する人材の育成が急務であり、その研修教材として、世代別・テーマ別に視聴覚教材を作成する事業。	4	
	小 計 (2事業・1団体)		21	—
情報化推進事業	市区町村セキュリティ向上事業	地方公共団体の情報セキュリティレベルの向上を支援するため、セキュリティに関する情報提供や個々の地方公共団体では取り組むことが困難なサイバー攻撃等に対するセキュリティ対策を支援する事業。また、統一的な評価尺度によるセキュリティ水準の維持が不可欠であることから、第三者機関による外部監査を実施するとともに、自治体CSIRT協議会を設立し、情報セキュリティ事故発生時の対応能力向上のための緊急時対応訓練等を開催。	114	地方公共団体情報システム機構
	自治体クラウド導入取組促進事業	自治体クラウドの導入が増加するなか、導入に係る諸課題を明らかにし、その解決手段等を示すことにより、市町村の自治体クラウド導入の取り組みを促進するため、モデル市町村を支援する事業。また、自治体クラウド導入に関する有識者を派遣し、諸課題解決案等の教授や導入計画策定を支援。	104	
	情報セキュリティ共同研修事業	最新のセキュリティ技術や個人情報の取り扱いレベルの向上を図る情報セキュリティ研修及び個人番号制度関連研修をそれぞれの立場に応じたコースでeラーニング及び集合研修により研修を行う事業。	70	
	被災者支援システムサポート事業	大規模災害に備え、危機管理の基盤システムである「被災者支援システム」の普及拡大を図るため、全国サポートセンターを設置し、当該システムを導入する市町村をサポートする事業。	21	
	個人住民税特別徴収税額通知の電子化に係るソフトウェア開発事業	地方税ポータルシステム(eLTAX)は、個人住民税の特別徴収義務者に行う税額通知を電子データで送付する機能を有しているが、その税額通知に法的効力がなかったので、市区町村がその税額通知に電子署名を付与することができ、特別徴収義務者とその電子署名の検証を行うことができるよう電子署名の付与等に関するシステムを改修する事業。一般市町村分負担金に相当する額を一括助成。	72	地方税電子化協議会
	マイナンバー対応に係るソフトウェア開発事業	マイナンバーの本格運用に対応できるよう電子申告等システムを改修する事業。一般市町村分負担金に相当する額を一括助成。	32	

(単位：百万円)

区分	事業名	事業概要	助成金額	団体名
	市町村法制執務支援事業	全国の地方公共団体の例規、法令、判例等のデータベースからなる「法制執務支援システム」の提供データを拡充するとともに、ポータルサイトにおいて随時利活用できるようにすることにより、市町村の法制執務を支援する事業。	62	地方自治研究機構
	地方債・金融関連情報共有・活用事業	市町村に必要な地方債の借入に関する情報をインターネットにより一元的・総合的に提供し、情報の共有及び活用の促進を図ることにより、有利で安定した地方債の借入を推進する事業。	49	地方債協会
	路線価等集約事業	全国の路線価等の電子データを集約し、ポータルサイト「全国地価マップ」で公開するとともに、その電子データをDVDに取りまとめて全市町村に配付することにより、市町村の固定資産税土地評価の適正化を図る事業。	43	資産評価システム研究センター
	小 計 (9事業・5団体)		567	—
文化芸術振興事業	地域の文化・芸術活動助成事業	市町村が自主的に企画立案した地域における創造的・文化的な芸術活動を支援することにより、自主事業の企画制作能力の向上と市町村文化施設の利活用の推進を図る事業。	121	地域創造
	全国フェスティバル事業	各地域の伝統芸能・祭り等を全国に向けて発信する「地域伝統芸能まつり」をNHKホールにおいて開催することにより、地域の伝統芸能等の保存・承継を支援する事業。	75	
	公共ホール音楽活性化事業	演奏家等を公共ホールに派遣し、市町村と共催でコンサート及び地域との交流を図るプログラムを実施するとともに、市町村が自主的に企画したコンサート等を支援することにより、公共ホールの利活用、地域文化の活性化を図る事業。	52	
	公立美術館活性化事業	地域創造の企画提示による複数の市町村立美術館の共同巡回展を支援することにより、市町村立美術館の企画制作能力の向上、連携の促進、所蔵品の利活用を図る事業。	18	
	公共ホール現代ダンス活性化事業	アーティストを公共ホールに派遣し、ホールとアーティストが共同で企画した地域交流プログラムや公演を実施することにより、地域の公共ホールの活性化を図る事業。	18	
	小 計 (5事業・1団体)		284	
消防・防災対策推進事業	全国消防操法大会事業	女性消防隊が消防操法技術を競い合う全国女性消防操法大会を開催することにより、消防技術の向上と地域における消防活動の充実を図る事業。	31	日本消防協会
	全国消防団大会事業	全国の消防団長・副団長等が一堂に会し、消防団が当面する課題等について考察を深めるとともに、顕著な功労、功績のあった消防団、団員等を表彰する全国大会を開催することにより、消防団活動の充実強化を図る事業。	28	
	「地域防災を担う人づくり」国際シンポジウム事業	欧米の義勇消防関係者を招聘し、全国の消防団員等とともに「地域防災を担う人づくり」をテーマとする国際シンポジウムを開催して意見交換等を行い、地域防災力の充実を図る事業。	3	
	「危険物製造所・取扱所等に係る完成検査マニュアル例」の作成事業	消防法により、危険物製造所等を設置・設備変更した場合は、完成検査に合格しなければならないが、ベテラン職員の大量退職により「検査技術の伝承」が課題となっていることから、全国消防機関において統一的に活用できる「完成検査マニュアル例」を作成し、危険物事故防止を図る事業。	46	

(単位：百万円)

区分	事業名	事業概要	助成金額	団体名
	全国救急隊員シンポジウムの開催事業	全国の救急隊員等を対象とした救急医療に関する最新情報の習得、実務的観点からの研究発表・意見交換や相互交流を図る全国的なシンポジウムを開催することにより、救急体制の充実を図る事業。	40	救急振興財団
	災害ボランティアシンポジウム等開催事業	災害時における退職者の豊富な実務経験の活用が注目されており、退職者による災害ボランティアをテーマに、課題やネットワークの構築等について意見交換するためのシンポジウムを開催することにより更なる活動の充実を図る事業。	22	地域社会ライフプラン協会
	被災地派遣初任研修・心のケア事業	東日本大震災の被災市町村では、不足する土木、建築等の専門的知識や経験を有する者を任期付職員として採用しているが、地方公務員として必要な地方自治制度、財務会計制度等の知識を身につけてもらうための初任研修を行うとともに、復興業務にあたることによるストレスとの向き合い方や心身の調子を保つ方法を学ぶ心のケア研修を行う事業。	10	
	全国消防救助技術大会事業	消防職員の救助技術を競い合う全国大会（H30は台風20号の影響で中止）及び地区大会（H30は西日本豪雨の影響で9大会中5大会が中止）を開催することにより、消防救助技術の向上、全国的な救助技術の平準化を図る事業。	28	全国消防協会
	市町村地域防火防災総合力強化事業	全国の各地域で活動する女性（婦人）防火クラブ、自主防災組織、幼・少年消防クラブ等が消防本部と協働して地域住民が参加する防火大会、防火フェア等を開催することにより、火災予防思想や防災意識の啓発等を行うとともに、防火・防災に関する情報を民間防火組織等に対し、提供することにより地域の防火防災力の充実強化を図る事業。	20	日本防火・防災協会
	危機管理体制調査研究事業	災害発生後に散見される「不正確な情報」が市町村の災害対応業務・地域社会へ与える影響やそれらの対応方策等について調査研究を行うことにより、市町村の危機管理体制の充実・強化等を図る事業。	13	日本防火・危機管理促進協会
	小 計（10事業・7団体）			241
地域活性化推進事業	地方創生のための移住・交流推進支援事業	都市と地方の交流を促進するとともに、都市から地方への移住を支援することにより、地域の活性化を図る事業。 また、地域課題解決のため、出前講座及びセミナーを開催。	149	地域活性化センター
	スポーツによる地域振興助成事業	小・中・高校生が参加する各種スポーツのうち、全国大会を継続的に開催し、地域活性化に役立てている市町村の取り組みを支援する事業。 また、助成期間満了を迎えたスポーツ拠点承認市町村のうち、助成終了後も継続して大会を開催する市町村に対して自立継続への円滑な移行を支援。	53	
	地方創生を担う人材育成の推進事業	地域づくり活動に関わる者を対象に、地域活性化の具体的事例を現場から直接学ぶ機会（地方創生実践塾・地方創生フォーラム）を提供することにより、地方創生の実践的手法・方策等の知識を深め、それぞれの地域で応用実践できる人材を育成する事業。	44	
	全国地域リーダー養成塾の運営事業	豊かな創造性を備え、意欲あふれる地域リーダーを育成するとともに、全国的な情報交換やネットワーク構築を支援するための専門的な研修・人材育成を行うことにより、活力ある地域づくりの推進を図る事業。	32	

(単位：百万円)

区分	事業名	事業概要	助成金額	団体名
	地域づくりコンテンツ発信支援事業	地域活性化の先進的かつ優良な事例として、「ふるさとづくり大賞」や「ふるさとイベント大賞」の受賞団体の活動を映像化し、インターネットで公開することにより、地域づくり団体等の特色ある取り組みや継続的な取り組みについて、全国の市町村が情報共有することにより市町村の地域づくりの推進を図る事業。	20	
	地域おこし協力隊員推進支援事業	市町村の地域おこし協力隊員募集情報を掲載するポータルサイトを運営し、隊員の活動の紹介、イベント・セミナー等の情報提供、隊員の起業支援等を行う事業。 また、地域おこし協力隊が10周年を迎えるので、地域おこし協力隊の活動等を紹介する書籍を作成。	20	
	地域づくり団体研修交流事業	市町村のパートナーとして地域課題に取り組む地域づくり団体の活動を支援するとともに、全国の地域づくり団体間の相互交流と情報交換の促進を図る「地域づくり団体全国研修交流会」等の全国レベルの研修交流会を開催する事業。	17	
	地域再生マネージャー事業	地域再生を目指す市町村に対して、実務的なノウハウを有する外部人材（地域再生マネージャー）を派遣することにより、地域の活性化に向けた持続可能な仕組みの構築を支援する事業。	140	地域総合整備財団
	公民連携推進事業	公共施設の維持管理や運営等に関して、PFI、指定管理者制度、公共施設マネジメント等の公民連携手法に関する諸問題について調査研究を行い、その結果を市町村に情報提供し、各制度の円滑な導入及び運用を支援する事業。	69	
	ふるさとものづくり支援事業	地域産業の育成に向けて、地域資源を活用した新商品開発に取り組む企業等を助成する市町村を支援することにより、地域経済の活性化や雇用機会の創出を図り、地域産業の育成モデルを全国の市町村に発信する事業。	48	
	まちなか再生事業	まちなかの再生に取り組もうとする市町村に対し、外部人材をモデル的に派遣することにより市町村の取り組みを支援し、その結果を市町村に情報提供することにより、まちなか再生の展開を図る事業。	48	
	小 計（11事業・2団体）		640	—
地域社会貢献活動等事業	選挙制度啓発事業	市区町村が行う明るい選挙推進運動の活性化を図るため、最近の制度改正を織り込んだ冊子を作成するとともに、明るい選挙推進のための研修会の開催支援や、地域で明るい選挙推進運動を進めるリーダーの養成を目的とした地域ボランティア及び若者リーダーフォーラムを開催することにより、市区町村の選挙制度啓発を支援する事業。	26	明るい選挙推進協会
	小 計（1事業・1団体）		26	—
特別研修・人材育成事業	市町村防災研修事業	頻発する大災害を踏まえ、市町村長、防災対応職員等を対象に、それぞれの職制に応じた実践的な災害対応に関する知識、ノウハウ・スキル等を習得する防災危機管理に関する研修を行う事業。	180	消防防災科学センター
	薬剤投与講習等に係る支援事業	救命率向上のため、救急救命士の処置範囲に「薬剤投与」等が拡大されたことにより、講師の確保、高度訓練用資器材の整備、病院実習体制の拡充、講習期間の延長等、救急救命士養成講習の増加経費の一部に対し助成する事業。	137	救急振興財団

(単位：百万円)

区 分	事業名	事業概要	助成金額	団体名
	地方公務員安全衛生推進事業	労働安全衛生法に基づく「衛生管理者」及び「安全衛生推進者」の資格取得を促進するための講習会を開催するとともに、市町村の産業医、保健師、看護師等を対象に安全衛生施策に必要な最新の知識等を提供する研修会等を開催することにより、職員の安全と健康を確保し、公務災害を未然に防止するための事業。	39	地方公務員安全衛生推進協会
	地域防火防災人づくり推進事業	地域防災力の向上に向け、女性（婦人）防火クラブ、自主防災組織の指導的立場にある者を対象に研修会を実施し、防火防災意識の普及、防火防災活動への参加促進と活動の活性化を図る事業。 また、防火防災活動のみならず、応急救護技術を取得するための講習会を開催。	35	日本防火・防災協会
	法務能力向上のための特別実務セミナー事業	市町村職員の法務能力の向上を図るため、全国的な課題（個人情報保護、情報公開等）に焦点を当てた「法務特別セミナー」や、行政の個別課題（まちづくり条例、空き家対策条例等）に焦点を当て、市町村のニーズに合った条例制定の際の問題点及び行政に直接関係のある重要判例を研究する「法務実務研究セミナー」を開催する事業。	31	地方自治研究機構
	消防団幹部等特別研修事業	地域防災力の要である消防団の幹部、幹部候補及び消防団員指導員を対象に、実技を含めた専門性の高い研修を行うことにより、消防団運営の充実・強化を通じ地域防災力の向上を図る事業。	14	日本消防協会
	固定資産の評価に関する研修事業	固定資産税制度及び資産評価制度について、即戦力として業務に従事できる人材を育成するため、基礎的・一般的知識の習得を目的とした研修や土地、家屋及び償却資産の評価の技法を系統的に習得する専門的研修を行う事業。	12	資産評価システム研究センター
小 計（7事業・7団体）			448	—
地域共通課題調査研究事業	地方創生の時代における地域コミュニティの担い手育成等に関する調査研究事業	地域コミュニティ活動団体と市町村職員の住民協働に関する能力養成に係る先進的な事例の調査研究を行い、住民協働推進のための要領を取りまとめ、地方自治の拡充を図る事業。	34	自治研修協会
	市区町村の経営に関する調査研究等事業	市町村が行財政改革のもとで行政サービスを提供するにあたり、市町村が取りうる様々な手法について、①補助金等により整備した公共施設の他用途展開に関する調査研究、②市区町村におけるAIを活用した業務効率化等に関する調査研究を行政経営の観点から実施し、地方自治の充実発展を図る事業。	30	地方自治研究機構
	固定資産の評価に関する調査研究事業	固定資産税制度及び資産評価制度に関する諸問題について、研究委員会（①土地に関する調査研究委員会、②家屋に関する調査研究委員会、③償却資産課税のあり方に関する調査研究委員会）を設置し、専門的な調査研究を行うことにより、経済情勢の変化に対応した制度改善を図るとともに、納税者の固定資産税についての理解を促進する事業。	13	資産評価システム研究センター
小 計（3事業・3団体）			77	—

(単位：百万円)

区 分	事業名	事業概要	助成金額	団体名
市町村関係 四団体活動 事業	地方分権・地域活性化推進事業	全国の各都市間の連絡調整、市政の円滑なる運営と進展を図るため、「分権型社会」の実現に向け要請活動を行うとともに、その実現についての調査・運動、地方創生に向けた諸活動を推進する事業。	65	全国市長会
	地方分権・地域活性化推進事業	分権型社会に相応しい地方議会制度及び議会事務局体制の強化に向けた研修会の開催、政府・国会等の分権改革への取り組みや地域活性化に関する施策等の情報収集、各市議会への情報提供等を行う事業。	41	全国市議会 議長会
	地方分権・地域活性化推進事業	町村に共通する諸課題に関する調査研究、政府・国会への要請活動、地方分権の推進・地域活性化に関する情報や資料の収集及びその提供、政策提案能力の向上を図る研修会を開催する事業。	97	全国町村会
	地方分権・地域活性化推進事業	地方分権改革の実現に向けた要請活動の展開、各町村議会への情報提供、全国の町村議会に関する実態調査、議員や事務局職員等を対象とした研修会を開催する事業。	73	全国町村議 会議長会
	小 計 (4事業・4団体)		276	—
	合 計 (53事業・24団体)		2,839	—

4 災害対策関連事業

(1) 市町村災害支援金

市町村災害支援金は、災害救助法が適用された地震、風水害、火災等の大規模災害に際し、被災市町村の災害対策事業を支援することを目的としている。

平成30年度においては、第4表のとおり豪雨及び地震により被災した42市町村に対し、63百万円を交付した。

第4表 平成30年度市町村災害支援金交付状況

(単位：千円)

災害名（災害救助法適用日）	交付年月日	交付市町村	交付金額
平成30年大阪府北部を震源とする地震 (平成30. 6. 18)	平成30. 8. 8	(大阪府協会)	
		高槻市	700
	茨木市	450	
	小計	2市(1協会)	1,150
平成30年7月豪雨（西日本豪雨） (平成30. 7. 5・6・7・8)	平成30. 9. 10	(岐阜県協会)	
		関市	1,050
		(京都府協会)	
		福知山市	800
		綾部市	450
		舞鶴市	650
		(島根県協会)	
		江津市	600
		川本町	300
		(岡山県協会)	
		倉敷市	5,000
		津山市	300
		笠岡市	850
		井原市	700
		総社市	3,100
		高梁市	2,050
		矢掛町	1,500
		(広島県協会)	
		呉市	4,250
		竹原市	1,200
三原市	3,400		
尾道市	900		
福山市	3,100		
三次市	600		
庄原市	300		
東広島市	2,150		
江田島市	300		
海田町	850		
熊野町	900		
坂町	3,850		

(単位：千円)

災害名（災害救助法適用日）	交付年月日	交付市町村	交付金額	
平成30年北海道胆振東部地震 (平成30. 9. 6)		(山口県協会) 岩 国 市	1,100	
		(愛媛県協会) 大 洲 市	3,250	
		今 治 市	400	
		宇 和 島 市	3,550	
		八 幡 浜 市	600	
		西 予 市	2,250	
		松 野 町	500	
		(高知県協会) 大 月 町	400	
		(福岡県協会) 久 留 米 市	1,000	
		飯 塚 市	1,500	
		小 計	35市町(9協会)	53,700
		平成30. 11. 12	(北海道協会) 北 広 島 市	300
			厚 真 町	4,800
			安 平 町	2,000
			む か わ 町	850
日 高 町	300			
小 計	5市町(1協会)	8,250		
合 計		42市町(11協会)	63,100	

(2) 消防広域応援交付金

消防広域応援交付金は、地震、風水害、林野火災等の大規模災害に際し、都道府県の区域を越えた消防機関の応援を迅速かつ円滑に行うことを促進することにより、人命の救助、被害の軽減に資することを目的としている。

平成30年度においては、第5表のとおり地震等により被災した23市町で消防応援した延べ77団体に対し、1億19百万円を交付した。

第5表 平成30年度消防広域応援交付金交付状況

(単位：円)

災害名（災害発生日）	交付年月日	受援市町村	応援団体	交付金額
山梨県上野原市林野火災 (平成29.12.17)	平成30. 5. 31	上野原市	埼玉県	346,392
			東京都	1,007,353
			横浜市	775,749
東京都奥多摩町林野火災 (平成30. 1. 3)	平成30. 5. 31	奥多摩町	埼玉県	265,694
			横浜市	228,792
			川崎市	83,332
山梨県市川三郷町林野火災 (平成30. 2. 26)	平成31. 3. 28	市川三郷町	埼玉県	163,552
			静岡県	97,782
山梨県富士吉田市林野火災 (平成30. 3. 4)	平成31. 3. 28	富士吉田市	埼玉県	139,258
			静岡県	94,427
長野県飯田市林野火災 (平成30. 4. 2)	平成31. 3. 28	飯田市	山梨県	527,152
			岐阜県	285,673
			静岡県	197,506
山梨県韮崎市林野火災 (平成30. 4. 4)	平成31. 3. 28	韮崎市	埼玉県	268,412
			静岡県	171,488
長野県長野市林野火災 (平成30. 4. 6)	平成31. 3. 28	長野市	埼玉県	208,287
			山梨県	140,543
大分県中津市土砂災害 (平成30. 4. 11)	平成31. 3. 28	中津市	福岡市	2,356,068
			北九州市	557,462
			熊本市	1,631,896
宮崎県美郷町林野火災 (平成30. 4. 11)	平成31. 3. 28	美郷町	熊本県	94,525
			鹿児島県	332,598
岩手県宮古市林野火災 (平成30. 4. 12)	平成31. 3. 28	宮古市	秋田県	138,845
			宮城県	103,339
秋田県大館市林野火災 (平成30. 4. 21)	平成31. 3. 28	大館市	青森県	113,359

(単位：円)

災害名（災害発生日）	交付年月日	受援市町村	応援団体	交付金額
岩手県岩泉町林野火災 (平成30. 4. 21)	平成31. 3. 28	岩 泉 町	青 森 県 仙 台 市	345,039 328,691
岩手県岩泉町林野火災 (平成30. 4. 28)	平成31. 3. 28	岩 泉 町	宮 城 県	161,618
平成30年大阪府北部を震源とする地震 (平成30. 6. 18)	平成31. 3. 28	枚 方 市 高 槻 市 茨 木 市 箕 面 市	兵 庫 県 京 都 市	99,969 55,152
平成30年7月豪雨 (西日本豪雨) (平成30. 7. 6)	平成31. 3. 28	倉 敷 市	岡 山 市	563,946
群馬県消防防災ヘリコプター墜落事故 (平成30. 8. 10)	平成31. 3. 28	中 之 条 町	栃 木 県 埼 玉 県 東 京 都 新 潟 県 長 野 県	203,849 533,574 1,248,882 762,570 169,291
兵庫県小野市林野火災 (平成30. 8. 23)	平成31. 3. 28	小 野 市	大 阪 市	125,372
平成30年北海道胆振東部地震 (平成30. 9. 6)	平成31. 3. 28	厚 真 町 安 平 町 む か わ 町	東京都他37団体	104,151,091
埼玉県ときがわ町林野火災 (平成31. 1. 23)	平成31. 3. 28	と き が わ 町	東 京 都 山 梨 県	92,627 163,333
合 計		23市町	延77団体	119,334,488

(3) 災害対策支援金

災害対策支援金は、地震、噴火等の大規模災害による被災者の自立及び被災地域の総合的な復興対策を支援することにより、被災地域の早期復興に資することを目的としている。

平成30年度は、対象となる大規模災害がなかったため交付しなかった。

5 市町村振興宝くじ販売促進事業

(1) 平成30年度サマージャンボ宝くじ等の広報

- ① 本協会と地方協会の事業は、サマージャンボ宝くじ等の収益金を財源として実施していることから、販売促進を図るため、地方協会に対し広報活動助成金（ハロウィンジャンボ宝くじ等に係る広報分を含む）を交付し、各種広報媒体による広報宣伝を依頼した。
- ② 宝くじ受託銀行等作成のポスターに一部変更を加えたポスターを4万部作成し、市町村、地方協会等に配付した。

なお、平成30年度の販売実績額は、686億11百万円（サマージャンボ宝くじ：491億13百万円／サマージャンボミニ：194億98百万円）となった。（前年比41億58百万円・5.71%減）

(2) 平成30年度ハロウィンジャンボ宝くじ等の広報

- ① ハロウィンジャンボ宝くじ等の発売額の完全消化を図るため、地方協会に対し各種広報媒体による広報宣伝を依頼した。
- ② 宝くじ受託銀行等作成のポスターに一部変更を加えたポスターを3万6千部作成し、市町村、地方協会等に配付した。

なお、平成30年度の販売実績額は、370億95百万円（ハロウィンジャンボ宝くじ：257億61百万円／ハロウィンジャンボミニ：113億34百万円）となった。（前年比81億48百万円・28.15%増）

6 研修会の開催・会報の発行等

(1) 実務研修会

平成30年11月16日に全国都市会館において、公認会計士を講師として「公益法人会計」、総務省自治財政局地方債課長を講師として「宝くじの現状と課題について～宝くじインターネット販売の本格的導入～」及びみずほ銀行宝くじ部副部長を講師として「公式サイトでの宝くじ販売等について」と題して実務研修会を開催した。

(2) 会報の発行

本協会の業務運営状況、地方協会の活動状況等を紹介するため、全国市町村振興協会「会報」を3回（平成30年6月第100号、9月第101号、平成31年1月第102号）発行し、市町村、地方協会等に送付した。

(3) 市町村振興協会運営状況調査

地方協会の運営状況（平成29年度実績）について調査し、その結果を取りまとめた。

(4) 宝くじ広報活動状況調査

地方協会が行ったサマージャンボ宝くじ等及びハロウィンジャンボ宝くじ等に関する平成30年度の広報宣伝活動の状況を調査し、その結果を取りまとめた。

7 市町村振興基金の管理

平成30年度においては、各地方協会より納付された納付金27億円及び長期貸付金償還額62億28百万円、合計89億28百万円が増加した。

一方、長期貸付金貸付額48億84百万円、助成金25億63百万円、市町村災害支援金63百万円及び消防広域応援交付金1億19百万円、合計76億29百万円が減少した。

その結果、第6表のとおり平成30年度末現在における基金期末残高は、期首残高に比べ9億99百万円増の101億68百万円となった。

第6表 平成30年度市町村振興基金の増減状況

(単位：千円)

基金期首残高	(A)	9,169,424
納付金	(B)	2,699,844
長期貸付金償還額	(C)	6,227,732
長期貸付金貸付額	(D)	4,883,600
助成金	(E)	2,563,000
市町村災害支援金	(F)	63,100
消防広域応援交付金	(G)	119,334
その他取崩額	(H)	300,000
基金期末残高 (A+B+C-D-E-F-G-H)		10,167,966

※ 事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。